

## 防災さんぽのまとめ

### 気づいたこと

- 80cm を超える塀が多くあり、昔からある家には 160cm 以上の塀もあった。
- 門柱の高さは 160cm 以上が多かった。
- 塀が道路側に斜めになっていて、災害時に危険なところがあった。
- 道路やマンホール周辺に亀裂やひび割れがあった。
- 歩道が斜めになっている箇所や、急になくなっている箇所があった。
- 低い小さな段差でもつまずく箇所があり、また、グラグラしている箇所もあったので、足元に注意が必要と感じた。
- 空家や、それ以外のお宅でも雑草が繁茂している場所があり、防火上心配である。

### みんなに伝えたいこと

- 避難する際は門柱にも注意したほうが良いです。
- 道路や歩道の小さな段差ほど気づきにくく、ケガにつながり、危ないので注意が必要です。
- 歩道が斜めになっている箇所は冬場は大変滑りやすいので注意が必要です。
- 歩道が急に無くなっているところが何箇所もあったので、歩行者も車の運転者もどちらも気を付けていかないとダメだと思います。
- 足元だけではなく看板の落下にも注意が必要です。全体見渡し行動しましょう。
- 植栽の中にゴミがあったり、空き缶が落ちていたりしていたので、地域のみなさんできれいな街にしましょう。
- 災害は昼夜問わず起こります。夜は特に視界が悪くなっているので注意して生活していきましょう。

### 感想・その他意見

- それぞれの役割分担があり、効率よく回れたと思います。子どもも楽しみながら高さを測ったり、シールを貼ったりしていたので、楽しく防災さんぽができました。
- ただ単に歩くだけではなく、他の方々と協力し合いながら共有することによって、発災時 1 人でも命が守れるようにできればよいと思いました。
- 普段気づいていないところもあり参考になりました。
- 普段通らないところがあり良かったと思います。
- 子ども達の通学路なので、危険な場所を確認しながら歩いて良かった。
- 自ら歩くことによって意識向上につながると感じました。



# R6 年度 防災さんぽ報告書

— 南小泉町内会編(6区・7区・9区・12区・13区) —  
(仙台市若林区)

日時 2024年11月10日(日) 9:00~11:30

場所 南小泉町内会内の道路

参加者 南小泉町内会、子供会(南小泉、いずみ、古城、遠見塚、遠見塚西)  
若林区役所(街並み形成課) 計63名

## 防災さんぽとは...

「防災さんぽ」は、普段利用している近所の道をみんなで歩き、地震発生時等に倒壊の心配があるブロック塀や落下の心配がある屋根瓦等がないか等、安全に避難や通行ができるか道の状況を確認するものです。防災さんぽを通じて生まれた気づきや感想を様々な立場の参加者同士が話し合い、情報を共有することで、地域の防災・減災意識の向上を図ることを目的としたものです。南小泉町内会では、今回3回目となるこの取り組みを、子供会や行政職員とともに実施しました。

## 防災さんぽのプログラム

※会場の都合により、C班(9区)は「①さんぽ」のみを実施しました。

### ①さんぽ

- ・5班に分かれて、まち歩きをしながら気になる箇所を確認しました。
- ・参加した子ども達も、積極的に測定棒を持って実測調査を行いました。

### ②まとめ

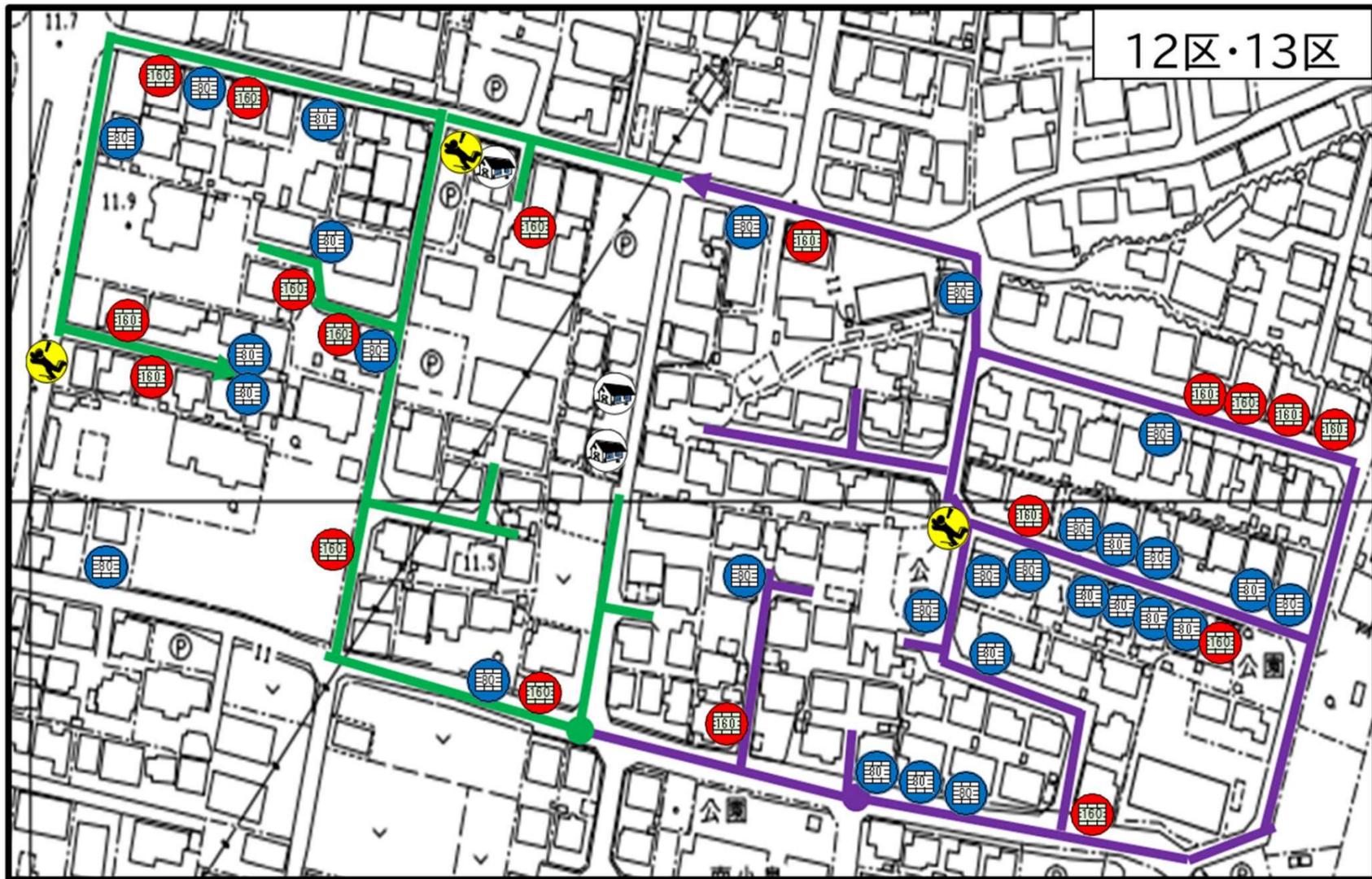
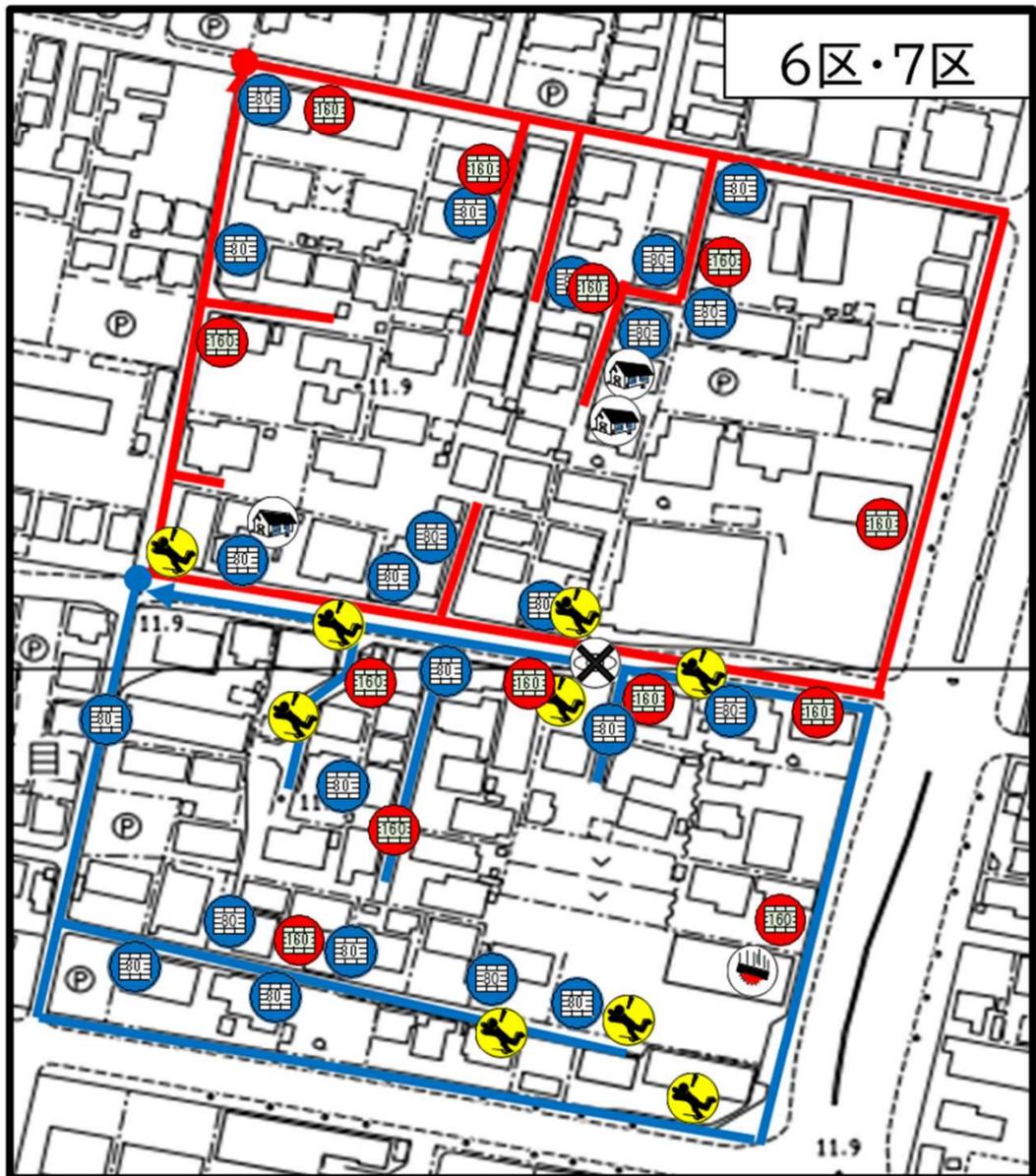
- ・班ごとに、まち歩きをして気づいたことや皆さんに伝えたいことを話し合いながら、「ふりかえりシート」にまとめました。

### ③発表

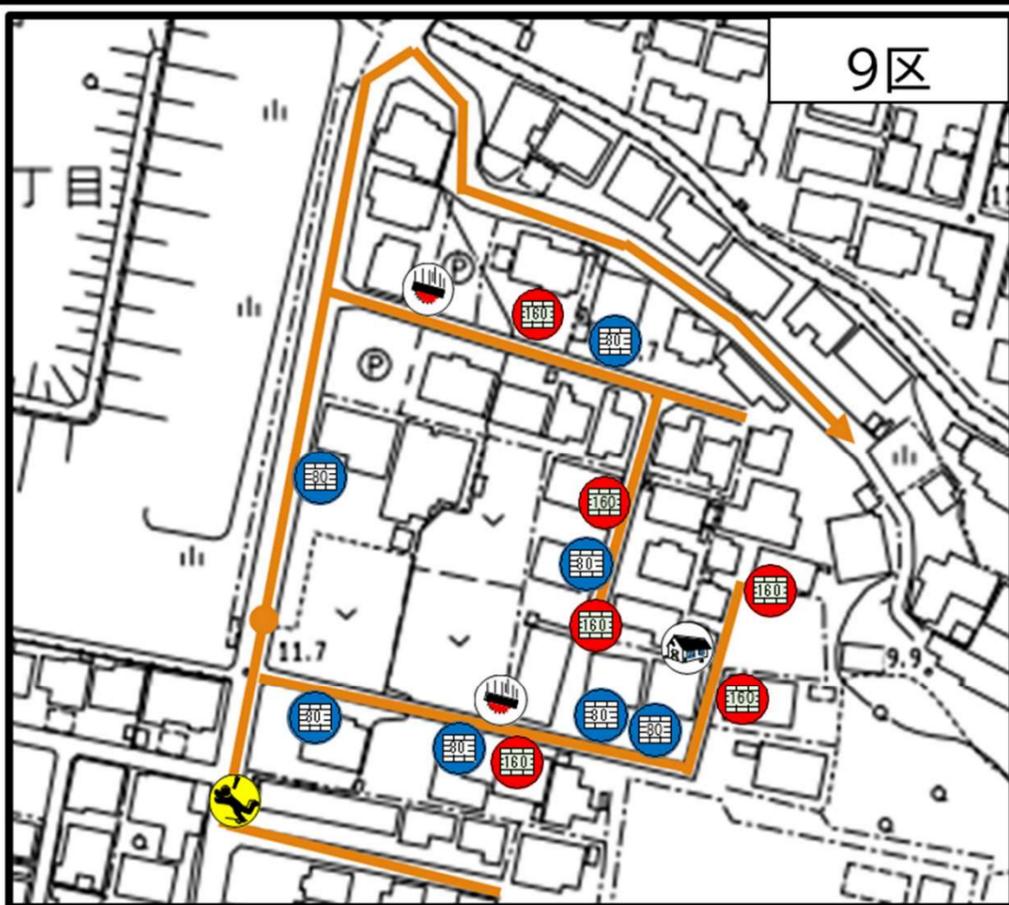
- ・町内会や子供会の方が、まとめた内容を班ごとに発表し、共通していることや特徴的なことを参加した皆さんと共有しました。



# 防災さんぽ結果マップ南小泉町内会編 (令和6年11月10日時点)



【各班の経路】	【結果の凡例】
A班ルート(歩行距離 約1.10Km)	高いへい(160cm以上)
B班ルート(歩行距離 約1.11Km)	やや高いへい(80cm以上)
C班ルート(歩行距離:約0.97Km)	見通しの悪いところ
D班ルート(歩行距離:約1.03Km)	つまづきそうなところ
E班ルート(歩行距離:約1.34Km)	地震時にものがおちてきたり 倒れてきそうなところ(瓦や看板等)
	長いあいだ人が住んでいない家



※このマップは危険性を判断しているものではありません。  
 ※このマップは当時の状況を示したものです。その後改善されている箇所もあります。